

4月号 東部営農経済センター便り

JA静岡市東部営農経済センター TEL:245-7527 購買店:245-7555



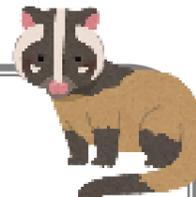
センター長	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	営農生活支援購買	購買
瀧口信也	折山	深井・片井	榮	大越	酒井・萩原・森川・鷺巣

ゴールデンウィーク 購買店営業日



日	月	火	水	木	金	土
4/25 休	26 通常営業	27 通常営業	28 通常営業	29 休	4/30 通常営業	5/1 AM営業
2 休	3 休	4 休	5 休	6 通常営業	7 通常営業	8 AM営業

静岡市 補助事業



① 野生鳥獣害防除資材（電気柵等）の補助制度について

申込手順：必ず設置者本人が市役所（中山間地振興課）へ
直接電話申し込みをする。連絡先：054-294-8807

- ※ 捕獲事業にも限界がありますので各自で、圃場を防護するようご利用ください。
- ※ 不明な点については、東部営農経済センター迄ご相談ください。

② いきいき都市農家支援事業について

補助対象者：農業収入が50万円以上且つ市街化区域に農地（借地を含む）を所有している方。
補助額：事業費の1/2以内の額（上限30万円）
補助対象となる施設・機械：トラクター、動噴などの機械類、農産物を貯蔵するための冷蔵庫等
※補助対象にならない資材もあります。不明な点は営農経済センター迄ご相談ください。

茶

管内の茶の生育状況は、昨年より5～6日早いと思われませんが、作柄は平年並みの生育と思われま
す。今後の降雨、気温の上昇で生育がさらに進むことも考えられますので、計画を立てて摘採を実施
しましょう。また、3月中旬の寒さの影響を受けた場所がありましたら硫酸を10a当り2袋、施用
し樹勢回復を行ってください。

今後の管理

◇ 1番茶摘採の注意事項

- ・摘採前に茶株面の落葉等の異物を除去する。
- ・樹勢維持の為、1葉程度残す摘採とする。（古葉は絶対に製品に入れない）
- ・摘採は早めに開始し、茶期後半に硬葉化しないように注意する。
- ・摘採した生葉にイタミが生じないよう、取扱いに十分注意する。
- ・茶工場内外での異物混入の防止、衛生面にも十分気を配る。
（異物とは、製品の荒茶以外の物すべてが該当します。）



- ※ 履歴を確認し個人毎の茶摘採可能日を把握し作業を行ってください。
- ※ 各自計画的な摘採に心掛けて実施して下さい。

◇ 1番茶後の整枝（ナラシ）

- <時期> 1番茶摘採後、10～14日経過し、遅れ芽が出揃った頃。
- <深さ> 遅れ芽を取り除き、摘採面を揃える程度。
※1番茶摘採面より深くならないように注意する。

◇ 病虫害防除

一番茶摘採後	カンザウハダニ チャノナガサビダニ ウンカ、スリップス	アグリメック劇	1,000倍	14日
2番茶萌芽期	炭そ病・もち病	オンリーワンFL	2,000倍	7日
	ウンカ、スリップス	ウララDF	1,500倍	

※周辺茶園が摘採前の場合は、必ず園主同士で確認し防除を行うか決めて下さい。

◇ 2茶肥

- <時期> 1番茶摘採後10～15日（摘採30日前）
- <施肥量> 化成肥料 3～4袋/10a（施肥後はできるだけ中耕する。）
※ 2番茶を摘採しない圃場でも、樹勢回復の為、施用は行いましょう！

柑橘

【状況】3月の気象状況から今年の開花は早いと予想されます。果樹研究センターの開花予想（4月10日時点）では、満開は5月5日と出ているため、昨年と比べても早い生育となっています。園地内でのバラつきもありますが、自分の園地の開花がいつなのかを確認しながら今後の管理に当たってください。

【防除】

・温州みかん

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率	日数-回数
3分咲き期	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	7日-3回
	チャノキイロアザミウマ	マッチ乳剤 又は スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 2,000倍	14日-3回 前日-3回
落弁期	チャノホコリダニ	モベントフロアブル	2,000倍	7日-3回
	チャノキイロアザミウマ 黒点病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	14日-3回

- 花と芽の競合を避けるため、3分咲き防除時に尿素500倍とリンクエース1,000倍を混用散布。落弁期防除時に尿素500倍と結晶粒マグ500倍を混用散布することで新梢緑化と着果安定が高まる。

・中晩柑

時期	病虫害名	農薬名	使用倍率	日数-回数
5月上旬 （満開時）	灰色カビ病	スイッチ顆粒水和剤	3,000倍	45日-2回
	チャノキイロアザミウマ	マッチ乳剤 又は スタークル顆粒水溶剤	2,000倍 2,000倍	21日-1回 前日-3回
5月中下旬	チャノホコリダニ	モベントフロアブル	2,000倍	7日-3回
	チャノキイロアザミウマ 黒点病	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	14日-3回
6月上旬	かいよう病	ICボルドー412	50倍	

落葉果樹

作物名	時期	病害虫名	農薬名	使用倍数	日数-回数
キウイ	5月中旬	かいよう病	コサイド3000	2,000倍	収穫後から 果実肥大期まで
			クレフノン	200倍	
		クワシロカイガラムシ	スプラサイド水和剤 ^劇	1,500倍	
梅	5月上旬	黒星病	ストロビーDF	3,000倍	7日-3回
梨	5月上旬	黒星病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	3,000倍	前日-3回
	5月中旬	黒星病・輪紋病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-5回
		ハマキムシ類	ロディー水和剤 ^劇	1,000倍	前日-2回
柿	5月上旬	黒星病・落葉病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍	14日-3回
	5月中旬	チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル ^劇	2,000倍	14日-2回
	5月下旬	うどんこ病・落葉病灰色かび病	ストロビーDF	3,000倍	14日-3回

● 梅のヤニ果が発生する園地ではヨーヒ B51,000 倍を防除時に混用散布をお勧めします。

いちご

平年以上の温暖な気候が続いております。気象庁の3ヶ月予報では、向こう3ヶ月は温暖な気候が続く見込みです。また、6月の降水量が平年以上に多くなる見込みです。病害虫の発生には要注意です、予防の徹底、早期の発見防除を心掛けるようにお願いします。

《本圃》病害虫防除

病害虫	薬剤名	倍率	日数	回数	入蜂	天敵
うどんこ病	パレード20フロアブル	2,000~4,000倍	前日	3回	なし	なし
灰色かび病	スミレックス燻煙剤	6g/100㎡ (50㎡×高さ2m)	前日	3回	なし	なし
アザミウマ	ファインセーブ ^劇	1,000~2,000倍	前日	3回	なし	なし
	ベネビアOD	2,000倍	前日	3回	なし	なし
アブラムシ	ウララDF	2,000倍	前日	2回	なし	なし
ハダニ	ダニオーテフロアブル	2,000倍	前日	2回	なし	なし

※灰色かび病の対策にはくん煙剤が有効ですが、使用には十分に気を付けてください。

※ダニオーテフロアブルは銅剤との混用近接散布は厳禁です。(14日以上あける)

《親株管理》 育苗スケジュールを立て、今後の予定を明確にしながら作業しましょう。

☆ メルク試験紙等を活用し、株の肥培状況を確認しましょう。(1B化成は10~14日が目安)

☆ 早期に出たランナーは除去しましょう。(苗質の不揃い、苗質の低下に繋がります。)

☆ 風通しの確保のため、密植は避けましょう。(古葉の除去はこまめに。)

JA 静岡市苺委員会 荷口採取品評会 結果

紅ほっぺ 一等 岩谷敏昭 様

きらび香 二等 藤浪友章 様 三等 小泉 泰士 様



※農薬名に^劇が付いている農薬は購入時に印鑑が必要になります、ご持参ください。

《育苗圃》 病害虫防除ローテーション (先月号の続きです。)

時期	薬剤	RAC	倍率	回数	対象病害虫
4月第4週	ジマンダイセン(水和)	M3	600倍	1/6	炭疽
	コテツ(フ) ^劇	13	2,000倍	1/2	ハダニ・ヨトウ・アザミウマ
4月第5週	サンヨール	M1	500倍	1/6	うどんこ・ハダニ
	エコピタ(液)	-	100倍	-	うどんこ・ハダニ
5月第2週	キノンドー(フ)	M1	500~800倍	2/3	炭疽
	ファルコン(フ)	18	4000倍	1/3	ヨトウ
5月第3週	ジーファイン(水)	NC・M1	750~1,000倍	-	うどんこ
	エコピタ(液)	-	100倍	-	うどんこ・ハダニ
5月第4週	セイビア(フ)	12	1,000~1,500倍	1/3	炭疽
	ハチハチ(フ) ^劇	21A	1,000倍	1/2	うどんこ・アブラムシ・アザミウマ

水稻

- (1) 塩水選 (購入粳でも必ず行う)
 - ・10aあたり4kgの粳を準備
 - ・塩水選した後に十分水洗いする。

	比重	10Lあたり	
		塩	硫安
うるち	1.10	1.6kg	2.0kg
もち	1.06	0.9kg	1.1kg

- (2) 種子消毒 下記薬剤に24時間浸漬する

病害虫	薬剤	倍率	薬量
ばか苗病	テクリードC	200倍	100ml/水20L
もみ枯細菌病			
イネシンガレセンチュウ	スミチオン乳剤	1,000倍	20ml/水20L

※ 薬液から取り出したら、水洗いせず、種粳の倍量の精水に3~4日間静置浸漬しておく。

- (3) 芽だし：30℃前後に加温(温水に浸し)、1mm程度目出しする。
- (4) 育苗箱はイチバン(1000倍)で殺菌する。
- (5) 床土：宇部倍培土又は粒状パールマット 1箱あたり4kg(床3kg、覆土：1kg)
- (6) 根上がり防止のために十分灌水。粳は一箱あたり150~160gを均一に撒く。
育苗枯病予防にダコレート水和剤(500倍、500ml/箱)(播種後灌水の代わりに)
- (7) 粳枯細菌病が心配な場合はツインターボ箱粒剤(一箱あたり50グラム)を覆土前に散布する。
※ ツインターボ箱粒剤をこの時期に使用した場合、田植え時に箱粒剤処理は不要です。
- (8) タチガレン液剤(500倍)を箱あたり500ml灌注すると丈夫な苗に!
※ ダコレートとタチガレンは混用不可、近接散布する場合は10日以上あけて散布する。

水稻栽培講習会のお知らせ

日時：令和3年5月11日(火) 13:30~

会場：あさはた支店2階会議室

内容：難防除病害虫防除のポイント(ウンカ・ジャンボタニシを中心に)
田植後の管理について(水管理、肥培管理等)

